

## 日本新生児成育医学会 平成28年度社員総会 議事録

日時：平成28年12月1日（木）12:00～13:30

場所：大阪国際会議場5階「大ホール」

### 議事

#### I. 報告事項

##### 1. 理事長挨拶（楠田理事長）

楠田理事長より、本総会での承認後に新年度の役員へ交代するが、この3年間、法人化や学会の名称変更などの大きな変化があり、今後さらに日本医学会への入会や公益社団法人化等の課題に取り組んでいきたいとの挨拶があった。評議員229名中、出席197名、委任状提出30名にて、本社員総会の成立と開会が伝えられた。

##### 2. 会長挨拶（北島会長）

北島会長より、本学術集会では優秀演題5題を選定した他、ポスターセッションはフリーディスカッションとし、新たにEnglish Sessionも設けるなどの試みを行っている。3日間、心からのメッセージを伝えていきたいとの挨拶があった。

##### 3. 理事長報告

###### 1) 熊本地震への対応の件

被災された皆様にお見舞い申し上げます。地震発生時、学会ホームページへ随時情報を掲載したほか、理事会MLと旧評議員へメール発信等を行った。

###### 2) 評議員・理事選挙の件

宇賀直樹先生（委員長）、沢田 健先生、渡辺とよ子先生（各委員）に選挙管理委員会委員を務めていただき、評議員・理事選挙が行われた。

###### 3) 韓国・台湾・日本 3か国の新生児学会交流の件

・台湾、韓国、日本の3か国による新生児学/新生児医療の学術集会（Joint Congress on Neonatology among Taiwan Society of Neonatology and Korean Society of Neonatology and Japan Society for Neonatal Health and Development）が今後、各地域で順に開催される。第1回が台湾、第2回が韓国、第3回が日本で行われる予定で、この覚書の調印式が平成28年11月30日に行われた。

・学会の国際化を目指すため、本学術集会ではEnglish Sessionが設けられた。また、台湾・韓国の先生方の講演も行われる。

###### 4) 文献許諾使用料の件

メテオ社の7～9月の文献使用料は合計810円（今年度合計1,944円）であった。

支払い金額が税込みで10,500円を超えた時点で指定口座に振り込まれることになっている。

###### 5) 寄付の件

今年もメディカ出版の書籍「改訂2版 新生児慢性肺疾患の診療指針」の印税34,442円を5月2日に名誉会員の藤村先生と田村理事よりご寄付いただいた。

###### 6) 日本医学会加盟の件

昨年に続き、7月末に加盟申請を行った。日本医学会への加盟は多くのメリットがあるため、申請が認められることを期待したい。

###### 7) 日本小児科学会の臨床効果データベース整備事業参画の件

平成28年度厚生労働省医政局事業として日本小児科学会の臨床効果データベース事業が開始され、その事業に本学会が参加することとなった。「National Clinical Database (NCD)」に倣って疾病構造が分かるデー

タベースを構築する研究事業であり、6,800万円のうち100万円の予算で長理事が一般的な新生児疾患の登録事業を計画している。

8) 要望書・意見書提出の件

- ・平成27年10月28日、厚生労働省に「チョコラA（錠、滴、末）の継続提供要望書」を提出。
- ・平成27年11月16日、厚生労働省に「0.01% アドレナリンのプレフィルドシリンジの発売の要望書」を日本小児科学会等と合同で提出。
- ・1月22日、厚生労働省に「一酸化窒素吸入療法の保険算定方法についての要望」を日本周産期・新生児医学会と提出。
- ・5月25日、厚生労働省に熊本地方で発生した地震後の新生児医療体制支援に関する要望書を日本小児科学会等と合同で提出。
- ・5月25日、高松地裁にて審理された“品胎脳性麻痺事案”の判決に関する意見書を日本小児科学会等と合同で提出。
- ・6月4日、厚生労働省に「災害時小児周産期リエゾン」設置の要望書を日本小児科学会等と合同で提出。
- ・7月13日、厚生労働省に「大規模災害時の乳児栄養の確保を目的とした液状ミルクの国家備蓄についての要望」の要望書を日本小児科学会等と合同で提出。
- ・8月22日、厚生労働省医薬・生活衛生局に「イブプロフェンリジン塩静注用剤の早期承認に関する要望書」を提出。

9) 子どもに無煙環境を推進協議会から署名依頼があった件

賛同される方は学会ホームページからダウンロードして署名いただきたい。

10) クレジット決済システム導入について

10月27日より学会ホームページ上で、年会費のクレジット決済を開始した。VISA/Master cardのみ対応可能となっている。経費削減のためにもクレジットカード払いにご協力いただきたい。

11) INC (international neonatal consortium) の件

新生児の薬剤に関する国際的な検討を行うもので、国際標準の開発・評価が行われる。FDA, EMA, PMDAも参画し、本学会からも数名の医師に直接参加していただく予定である。

4. 庶務報告（和田幹事）

全会員数は2,862名（昨年度報告数3,059名）、非医師105名、名誉会員26名、功勞会員77名、評議員207名、購読会員26件、新入会263名、退会者249名などが報告された。平成28年度末資格喪失退会者は112名となっている。

II. 決議事項

第1号議案 平成28年9月期（平成27年10月1日～平成28年9月30日）決算書類承認の件（楠田理事長）

一般会計、特別会計の各決算について資料に基づき説明が行われた。平成28年9月期の事業報告書に第60回学術集会、総会、記念式典、記念誌発刊についての記載漏れがあった。正味財産増減計算書では経常収益は80,951,411円、計上費用は85,673,351円となり、4,721,940円の赤字となった。来年からは免除期間が終了し消費税の課税対象となる。船戸監事より会計監査の報告が行われ、承認された。

第2号議案 平成29年9月期（平成28年10月1日～平成29年9月30日）事業計画及び収支予算の件

（楠田理事長）

平成29年度予算について資料に基づき説明・報告があった。当期歳入予定26,230,000円、当期歳出予定額32,738,800円の前案が承認された。収入を増やし、支出を減らしていきたい。

第3号議案 定款施行細則変更の件（楠田理事長）

これまで21種類の委員会が設けられていたが、統廃合し19委員会とした。それに伴い、定款施行細則に記

載されている委員会名を変更した案が示され、承認された。

第4号議案 学術集会会長に関する件（楠田理事長）

第64回（平成31年）学術集会会長として鹿児島市立病院の茨 聡理事が推薦され、承認された。

第5号議案 名誉・功労会員推戴の件（楠田理事長）

新名誉会員として梶原真人先生、近藤裕一先生、堺 武男先生、戸荊 創先生、新功労会員として上谷良行先生、氏家二郎先生、小口弘毅先生、嶋田泉司先生、萩沢正博先生、久富幹則先生、本間洋子先生が推薦され、承認された。

第6号議案 新理事選任の件（楠田理事長）

以下の新理事が承認された（敬称略）。

板橋家頭夫	茨 聡	加藤 稲子	河井 昌彦
日下 隆	楠田 聡	河野 由美	側島 久典
高橋 尚人	田村 正徳	長 和俊	中村 友彦
長谷川久弥	早川 昌弘	福原 里恵	細野 茂春
森岡 一郎	与田 仁志	和田 和子	渡部 晋一

### Ⅲ. 各種委員会報告

1) 医療訴訟問題検討委員会（早川委員長）

特になし。

2) 学術集会の在り方検討委員会（早川委員長）

学会ホームページに掲載している本学術集会のアンケートにご協力いただきたい。

3) 医療器材の安全性確認委員会（猪谷委員長）

「アトムメディカル酸素ブレンダによるガス配管内の逆流現象に対する注意点」の文書を作成しホームページに掲載した。

4) 輸血問題委員会（細野委員長）

小児輸血ガイドライン案を日本輸血・細胞治療学会理事運営委員会に提出した。また、血液製剤の院内分割マニュアル案を日本輸血・細胞治療学会理事運営委員会に提出した。

5) 医療の標準化委員会（高橋委員長）

低出生体重児の肝芽腫についてのフォローアップガイドライン作成を目指している。本学術集会3日目に、杏林大学小児科の前々教授の別所文雄先生に「低出生体重児における肝芽腫の発生—小児がん登録に見る最新の状況」のご報告をしていただく。また、平成30年を目標に鉄剤補充ガイドラインを本委員会で完成させる予定にしており、本学術集会の第1日にコンセンサスマーティングを開催する。

6) 産科医療補償制度対応委員会（田村委員長）

第7回報告書で母子同室中の急変事例が取り上げられ、母子同室中の留意点に関して全国調査を行い、まとめることとなった。

7) 規約改定委員会（和田委員長）

委員会の改組を行った。

8) 災害対策委員会（和田委員長）

- ・熊本大学、久留米大学への医師派遣は継続中である。
- ・くまモン救児募金からは医師派遣実費、熊本小児在宅ケア、人工呼吸療法研究会送迎車両の支援、親子遊びのひろばの支援に支出した。
- ・10月5日、奥 起久子先生に依頼し、君津市にて“災害に備えよう”という講演を行った。学会ホームページに講演会記録を掲載している。

- ・本学術集会において日本小児救急医学会との共催により、小児医療従事者向け災害医療研修会を開催する。
- 9) 社会保険委員会（中尾委員長）  
平成28年度は先天性心疾患に関するNICU算定期間の延長が認められた。次年度はアンバウンドビリルビンの測定期間、重症黄疸に対するガンマグロブリン投与などを検討している。
- 10) 男女共同参画推進委員会（河野委員長）  
12月2日（金）13：10～15：10に本委員会主催のWSを開催する。学会への要望をまとめる予定であり、評議員の出席をお願いしたい。委員会で行った「女性医師の働き方に関するアンケート」の結果を学会ホームページ会員専用サイトに掲載している。
- 11) 倫理問題検討委員会（福原委員長）  
12月2日（金）15：20～17：20に第5会場にて、本委員会主催の参加型ワークショップを開催する。話し合いのガイドラインを有効に活用し、倫理的課題に対して真摯に取り組むことができるよう、5名のご家族も交えての多職種グループワークを企画したので出席をお願いしたい。
- 12) 教育委員会（中村委員長）  
特になし。
- 13) 雑誌編集委員会（加藤委員長）
  - ・平成29年度は1号に15編、2号に1編が決定し、査読中が2編、著者校正中が7編。投稿論文数が減少傾向のため投稿にご協力いただきたい。
  - ・評議員に査読時の専門分野についての回答を依頼しているのでご協力をお願いしたい。
  - ・論文投稿時のチェックリストの一部変更を行った。倫理委員会の承認がない（不要となっている）場合の理由の記載も求めている。
  - ・本学術集会にて「論文執筆と査読のためのセミナー」を開催する。多くの方にご参加いただきたい。
- 14) 医療提供体制検討委員会（茨委員長）  
新生児科医師の勤務状況と医師育成、供給に関するアンケートと、新生児病室内におけるいわゆる「一人飲み」の実態に関するアンケートを行う予定である。
- 15) 薬事委員会（板橋委員長）  
興和株式会社より静注用アブネカットの製造を中止したいとの申し入れがあった。
- 16) 学会賞選考委員会（楠田委員長）  
学会論文賞受賞者が小林 梢先生（昭和大学医学部小児科学講座）「早産低出生体重児におけるNICU入院中の身体測定値SDスコアの推移に関する検討」、学術奨励賞受賞者が平田克弥先生（大阪大学大学院医学系研究科小児科学）「Perinatal Factors Associated with Long-term Respiratory Sequelae in Extremely Low Birth Weight Infants」に決定した。
- 17) フェローシップ選考検討委員会（楠田委員長）  
今年度の若手新生児科医フェローシップの採用者は21名であった。平成29年度分の協賛金200万円を今年もアッヴィ合同会社様よりご入金いただいた。
- 18) サーベイランス委員会（長委員長）  
「急性期離脱後の極低出生体重児に発症する原因不明の溶血性貧血」は30症例が集まり、投稿準備中である。先天性間質性肺疾患についても症例が105例となり投稿準備中である。新規対象疾患として新生児HLH（Hemophagocytic lymphohistiocytosis）と新生児ヘモクロマトーシスを高橋理事より申請予定となっている。  
NICU病床を使用する極低出生体重児以外の疾病構造調査については研究計画立案中のため、改組した委員会で取り組む予定である。
- 19) 広報委員会（側島委員長）

災害時等に学会ホームページで緊急連絡の内容をより明確に伝えられるよう改善していきたい。

20) 小児慢性疾患対策委員会（長委員長）

成人の特定疾患との整合性を調整中で、先天性サイトメガロウイルス感染症、先天性トキソプラズマ感染症が認められたが、いずれも神経疾患の分類となる重症例であり、難聴のみの場合には認められないこととなった。

21) 感染対策予防接種委員会（北島委員長）

例年通り NICU における新生児感染症発症状況のアンケート調査の実施中である。また、会員から依頼があり第2回劇症型壊死性腸炎症例のアンケート調査も同時に実施しているのでご協力いただきたい。

22) その他報告事項

・ 渉外委員会（早川委員長）

台湾、韓国、日本の3か国による新生児学/新生児医療の学術集会（Joint Congress on Neonatology among Taiwan Society of Neonatology and Korean Society of Neonatology and Japan Society for Neonatal Health and Development）に関する覚書の調印式が平成28年11月30日に行われた。

#### IV. 第62～64回会長挨拶

第62回会長（側島理事）：平成29年10月12日～14日にソニックシティで開催予定である。学術集会ホームページをオープンし、演題登録期間を掲載している。締め切りが6月13日と、例年より早くなっているのでご留意いただきたい。

第63回会長（与田理事）：平成30年11月22日～24日に都市センターホテルで開催予定である。看護学会は砂防会館（シェーンバッハサポー）で開催する。

第64回会長（茨理事）：平成31年11月27日～29日に城山観光ホテルで開催する。

#### V. 新名誉・功労会員感謝状贈呈

堺 武男先生（新名誉会員）、上谷良行先生、氏家二郎先生、久富幹則先生、本間洋子先生（各新功労会員）に感謝の気持ちを込めて感謝状を授与した。

#### VI. 学会賞受賞者への賞状贈呈

学会論文賞受賞者小林 梢先生と学術奨励賞受賞者平田克弥先生に賞状と賞金を授与した。

社員総会の閉会が伝えられ、以下の新役員が紹介された。

【理事長】楠田 聡

【副理事長】中村 友彦

【理事】	板橋家頭夫	茨 聡	加藤 稲子	河井 昌彦
	日下 隆	楠田 聡	河野 由美	側島 久典
	高橋 尚人	田村 正徳	長 和俊	中村 友彦
	長谷川久弥	早川 昌弘	福原 里恵	細野 茂春
	森岡 一郎	与田 仁志	和田 和子	渡部 晋一

【監事】猪谷 泰史 北島 博之

【幹事】大木 茂 飛驒麻里子 和田 雅樹